

今週（12月18日から12月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、資金調達サイドのニーズが強く、週を通して高めのレート推移となった。
無担保コールO/N物の加重平均レートは、週初18日(月)は▲0.013%、19日(火)と20日(水)は▲0.010%、21日(木)は▲0.011%、22日(金)は、週末3日積みとなったが、レート水準は既に高水準での推移となっていた事もあり、上昇幅は限られ、概ね横這い圏での出会いが中心となった。
ターム物に関しては、O/N物の水準よりも若干低い水準となる、▲0.015～▲0.01%での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初538.5兆円から始まり、20日(水)に国債の大量償還・利払いを迎えたことで544.6兆円まで増加し、その後は大きな変動はなく概ね横這い圏での推移となった。

また、18日から19日にかけて行われた金融政策決定会合では、長短金利操作と資産買入れ方針、ともに現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、概ね▲0.20～▲0.08%程度で推移した。
SC個別銘柄では、2Y440～455回、5Y150～163回、10Y355～372回、20Y175～186回、30Y65～80回、40Y10～16回など、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、概ね強含みで推移した。
22日に実施された3M物入札は、強い水準での決着となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、やや小甘い推移となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気機器、石油、電気・ガス業、医薬品等の複数の業態が大型発行を実施した事で、発行超のマーケットとなった。
市場残高は、週を通して概ね28兆円台後半と引き続き高水準で推移した。
発行レートについて、日銀適格担保銘柄の3 M以内の案件については、0%近辺での出会いが中心となった一方で、ロングターム物の案件では政策変更への警戒感からか、レート水準にばらつきが見られた。また、非適格担保銘柄や、一部のノンバンク銘柄では、引き続き投資家目線の上昇が見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
12/18（月）	32,758.98	0.665	142.15	△ 0.013	△ 0.148	5,385,500
12/19（火）	33,219.39	0.639	143.51	△ 0.010	△ 0.169	5,402,700
12/20（水）	33,675.94	0.555	143.98	△ 0.010	△ 0.162	5,446,700
12/21（木）	33,140.47	0.585	143.36	△ 0.011	△ 0.129	5,448,500
12/22（金）	33,169.05	0.625	141.91	△ 0.010	△ 0.119	5,448,600

来週（12月25日から12月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
12/25 (月)	日本経済団体連合会審議会において植田日銀総裁講演 10月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				New York、EURO、London祝日 (Christmas Day)
12/26 (火)	11月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 11月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 11月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	2Y 29,000億円 1/4発行			10月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 EURO祝日(Christmas Holiday) London祝日(Boxing Day)
12/27 (水)	決定会合における主な意見(12月18・19日分 8:50) 11月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				
12/28 (木)	11月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 11月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50)				
12/29 (金)	証券取引場大納会				12月のシカゴPM景況感指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/25 (月)	▲ 2,500	7,000	4,500	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 400 ▲ 100 35,700		35,200	39,700	TB3M発行▲56,000償還55,400 流動性供給▲5,000
12/26 (火)	▲ 3,000	2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
12/27 (水)	▲ 4,000	5,000	1,000				0	1,000	
12/28 (木)	▲ 3,000	▲ 1,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	
12/29 (金)	▲ 2,000	▲ 700	▲ 2,700	CP買入		4,000	4,000	1,300	
週 間 合 計	▲ 14,500	12,300	▲ 2,200	—	35,200	4,000	39,200	37,000	

12/25は日銀予想、12/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが旺盛なため、レート水準は高めに推移することが予想される。債券レボ GC T/N物は、年末をまたぐ取引では大幅にレートが低下することも想定される。短国市場は、年内の入札はない。また、26日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では25日に植田日銀総裁講演、26日に11月の完全失業率、11月の有効求人倍率、27日に決定会合における主な意見(12月18・19日分)、28日に11月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、26日に10月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入